

消 防 訓 練 実 施 通 知 書

北後志消防組合消防長 様		年 月 日
届出者 住 所 法人名 職氏名		
防火対象物所在地	電話	
防火対象物名称	主要用途	
訓練実施予定日時	令和 年 月 日 時 分 開始予定	
想	1 出火想定日時	1 通常勤務時間 2 休日 3 夜間 4 その他 ()
	2 出火想定場所	
	3 覚知と周知の方法	1 出火場所付近に居合わせた者が発見し、通報班に知らせる。 2 自動火災報知設備の発報で覚知し、受信機付近に居合わせた者が出火場所の検索と確認を行う 3 その他～
	4 指定避難場所	
	5 訓練参加人員	出火時の要保護者数 人 その他 人 出火時の勤務者数 人 合 計 人
定	事前の予告	1 訓練実施者に上記の1. 2. 3. 4. 5を予め知らせておく。 2 訓練実施者の一部に上記の1. 2. 3. 4. 5を予め知らせておく。 3 訓練実施者には、全く予告なしで行う。
	その他	
要望事項	<input type="checkbox"/> 消火器取扱い訓練を (届出時 ・ 後日 /) 名程度実施したい。 <input type="checkbox"/> 訓練用消火器を借用したい。 <input type="checkbox"/> その他要望事項等 ()	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄	※ 備 考

訓練の内容	通報訓練	<p>1 消防機関へ通報する火災報知設備で、119番の通報訓練を行う。(119番は小樽へ入電します。)</p> <p>※ 通報訓練を実施する直前には、必ず余市消防署23-3711に通報訓練を行う旨の連絡をして下さい。</p> <p>2 119番の通報訓練を行う。(実際に119番発信はせず、余市消防署23-3711へ発信し訓練を行う。)</p> <p>3 事業所内で模擬通報訓練を行う。</p> <p>4 その他～</p>
	消火訓練	<p>1 出火想定室で使用中の火気器具燃料停止と、戸窓の閉鎖訓練を行う。</p> <p>2 全ての防火戸、戸、窓の完全閉鎖訓練を行う。</p> <p>3 消火器を出火想定場所まで運び、消火の動作をする。</p> <p>4 訓練用消火器で消火訓練を行う。</p> <p>5 屋内消火栓のホースを出火想定場所まで手びろめする。</p> <p>6 屋内消火栓を使い、放水訓練を行う。</p> <p>7 屋内消火栓を使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。</p> <p>8 動力消防ポンプを水利まで運び、出火想定場所までホースを手びろめする。</p> <p>9 動力消防ポンプを使い、放水訓練を行う。</p> <p>10 動力消防ポンプを使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。</p> <p>11 その他～</p>
	避難訓練	<p>1 自動火災報知設備のベルを鳴らす。</p> <p>2 非常ベル、自動式サイレンを鳴らす。</p> <p>3 携帯拡声器を使い、指定避難場所への誘導訓練を行う。</p> <p>4 非常放送による出火場所と、避難場所の周知訓練を行う。</p> <p>5 避難はしご、緩降機、すべり台、救助袋を使い、逃げ遅れ者の避難訓練を行う。</p> <p>6 屋外避難階段を利用した避難訓練を行う。</p> <p>7 ()による不特定多数者の避難誘導訓練を行う。</p> <p>8 ()による逃げ遅れ者の有無確認訓練を行う。</p> <p>9 ()による逃げ遅れ者の救出訓練を行う。</p> <p>10 ()による要保護者の避難訓練を行う。</p> <p>11 ()簿を用いて人員の確認訓練を行う。</p> <p>12 重要書類、重要物品の非常持ち出し訓練を行う。</p> <p>13 その他～</p>

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 上記の中から該当又は、希望する項目を選び出し、その数字を○で囲むこと。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 必要に応じ、防火対象物の配置図、各階平面図に、消防用設備等の配置及び避難経路を記入したものを添付すること。
- 5 訓練用消火器を借用する場合は、この届出と同時に借用依頼書を提出すること。